



平成25年2月5日

各 位

上場会社名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722)
問合せ先責任者 執行役員 中島 由彦
(TEL 03-5740-5724)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年10月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,800	3,300	3,330	1,930	4,277.41
今回修正予想(B)	23,353	1,935	2,057	1,167	2,588.05
増減額(B-A)	△1,446	△1,364	△1,272	△762	
増減率(%)	△5.8	△41.4	△38.2	△39.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	23,292	2,929	3,051	1,715	3,756.80

平成24年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,300	3,060	1,740	3,856.31
今回修正予想(B)	14,017	2,130	1,036	2,297.17
増減額(B-A)	△1,282	△929	△703	
増減率(%)	△8.4	△30.4	△40.4	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	14,630	2,803	1,547	3,389.84

修正の理由

・ITコンサルティング事業において、業務改革に伴うITシステムの刷新・統合に関する大規模プロジェクトを複数受注したほか、金融業や製造業の新規顧客の中規模プロジェクトも多数開始できたものの、既存案件の一部で品質向上のための費用の増加やプロジェクトの遅延が発生いたしました。また、東南アジアでのビジネスについては、マレーシア子会社は順調に成長しているものの、シンガポール・タイについては、顧客獲得が予定よりも遅れたことからコストが先行いたしました。

・パッケージ&サービス事業においては、FutureOne株式会社が下半期は前年同期を上回る売上・営業利益を確保したものの、第1四半期における不採算案件による損失のため、通期では前年度実績よりも営業利益が減少しました。

・また、平成24年1月末に雑誌「東京カレンダー」を含むメディアサービス事業を会社分割により取得し、ウェブサイトのリニューアルを行うなどインターネットサービスへの展開を推進した結果、11月及び12月は月次黒字を達成したものの、初期の赤字を挽回するには至りませんでした。

・以上の理由により、平成24年12月期の連結及び個別の業績予想を修正するものであります。
なお、期末配当予想の1株当たり750円(年間配当予想1,500円)に変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上